

②1 国道55号 南国安芸道路（高知龍馬空港～香南のいち）

受賞機関 国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所

キーワード 低炭素アスファルト、道路分野の脱炭素化、
開通に向けた戦略的広報

全建賞審査委員会の評価ポイント

カーボンニュートラルの実現及び2030年度の温室効果ガス削減目標の達成に向けて、舗装工事の一部において低炭素アスファルトを採用し、中温化技術を活用してCO₂排出量の抑制に取り組むとともに、高知県、沿線自治体、NEXCO、報道機関等の関係機関と緊密に連携し、開通に向けた戦略的な広報活動を展開した点が評価された。

1. はじめに

国道55号南国安芸道路は、自動車専用道路として整備される高知東部自動車道の一部であり、四国横断自動車道及び阿南安芸自動車道と一体的に機能することにより「四国8の字ネットワーク」を形成する。令和7年3月15日、南国安芸道路の高知龍馬空港IC～香南のいちIC間（延長3.5km）が開通し、高知JCTから芸西ICまでが高規格道路で接続された。

本稿では、国道55号南国安芸道路（高知龍馬空港IC～香南のいちIC）の舗装工事の一部において、CO₂排出量を抑制する取組の一環として低炭素アスファルトを採用したこと、さらに、開通に向けた事業の整備効果や必要性等について広く理解を深めるため、高知県、沿線自治体、NEXCO、報道機関等の関係機関と緊密に連携し、開通前イベントや開通式までの戦略的な広報活動を行ったことを紹介する。

2. 事業の概要

アスファルト舗装工事で使用されるアスファルト混合物を製造する際のCO₂排出量は、舗装工事に係る排出量全体の約8割を占めている。こうした中、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献し、道路の脱炭素化の取組を推進するため、今回、アスファルト舗装工事におけるCO₂排出量を抑制する取組の一環として、低炭素アスファルトを用いた中温化技術（フォームドアスファルト技術）を採用した。

また、南国安芸道路（高知龍馬空港IC～香南のいちIC）の開通に向けて、多くの方々に本事業を知ってい



アスファルト(発泡前)

フォームドアスファルト

通常のアスファルトとフォームドアスファルト

ただため、戦略的な広報計画を立案し、関係機関と連携して、様々なイベントや広報活動を行った。

3. 事業の成果

今回、低炭素アスファルトを用いた中温化技術の採用により、労働環境が改善され、通常のアスファルト混合物と同程度の品質・施工性を確保できた。また、当該工事における全体のCO₂削減量は9,870kgであり、年間1世帯当たりの電力消費に伴い排出されるCO₂（約2,000kg）の4.5年分に相当する削減効果が得られた。さらに、戦略的な広報活動として、次の取組を実施した。

①開通前イベントの取組

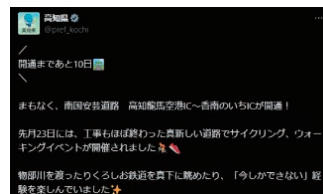
- ・地元園児による橋面お絵かきイベント
- ・地元自治体主催の開通イベント

②開通式までの広報活動

- ・新聞広告や自治体広報誌への掲載
- ・開通日掲載ポスター及びビラシの配布
- ・横断幕や懸垂幕の設置
- ・開通式典及び開通記念動画の掲載
- ・デジタルサイネージへの掲載
- ・開通までのカウントダウン投稿



橋面お絵かきイベント



高知県による開通カウントダウン投稿状況



新聞広告による広報（開通1週間前/開通日当日）

4. おわりに

本稿が、カーボンニュートラルの実現に向けた今後の道路ライフサイクル全体の低炭素化並びに低炭素型材料の導入促進の一助となることが期待される。また、今後も開通後の整備効果等について関係機関と緊密に連携し、多くの方々に知っていただけるよう、情報発信に取り組んでいく。

賛助会員 (株)IHインフラスクエア、(株)ウエスコ、
(株)エイト日本技術開発、オリエンタル白石(株)、
(株)建設マネジメント四国、セントラルコンサルタント(株)、(株)長大、
(株)NIPPO、(株)富士ビー・エス、三井住友建設鉄構エンジニアリング(株)